



学校だより



2023年も残すところ2ヶ月です。

日に日に秋が深まってきました。現在、本校では11月10日に実施する、岡山県小学校教育研究会浅口支会指定の研究発表会の準備の真っ最中です。保護者の方のご支援のもと、教室やベランダや体育館の大掃除をしたり、放課後の時間を使って、研究会協議の進め方を練っております。11月号では令和の教育改革（参考情報）のご説明と、全国学力・学習状況調査、岡山県学力・学習状況調査の結果の2点について、ご報告します。

【I. なぜ令和の教育改革なのか、GIGAスクール構想なのか？】

学習指導要領の前文には、以下の記載があります。

これからの学校には…（略）

一人一人の児童（生徒）が、

自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、

多様な人々と協働しながら

様々な社会的変化を乗り越え、

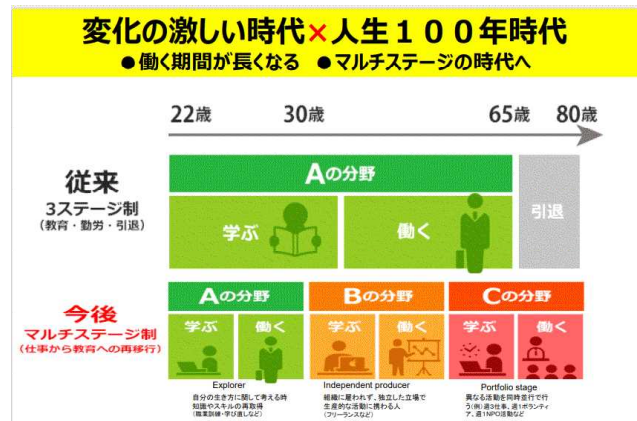
豊かな人生を切り拓き、

持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

このような子どもの育成を目指して、令和の教育改革が進められています。以下に、教育改革の背景について、外的トレンドの一部をご紹介します。

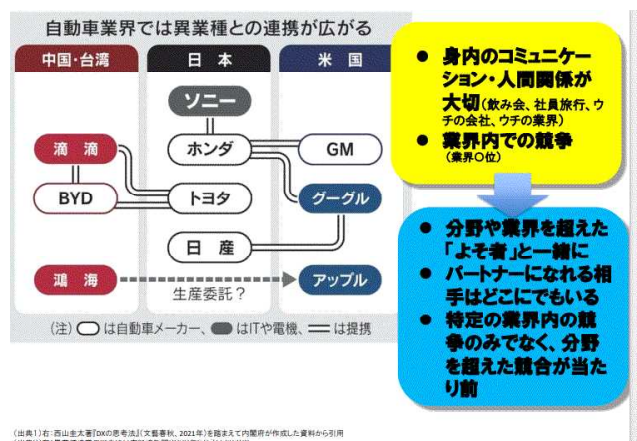
①変化の激しい時代 × 人生100年時代

子どもたちが社会に出る頃には、働く期間が長くなり、マルチステージ時代に移行すると言われていきます。従来のように、教育を受けて、勤労し、引退するという3ステージではなく、Aの分野→Bの分野→Cの分野とマルチステージで生きていく時代になるという事です。つまり、仕事に就いた後もリスキリング（学び直し）が重要であり、そのためには、小学生時代から、知識を詰め込み型で学ぶのではなく、「**学び方を学ぶ**」必要があり、これが「主体的な学び」と言われている所以です。学校で教えるべきは、知識だけではなく、「**学び方**」ということになります。



②グローバル化 & 多様性の重視

2022年6月の日経新聞に、ソニーとホンダが提携し、高付加価値のEV（電気自動車）の販売とモビリティサービスを担う、新会社設立の発表がありました。国内だけでなく、中国・台湾、米国の企業との連携も計画中的とのことでした。この事例からわかるのは、「**分野や業界を越えた『よそ者』と一緒に進める**」力が必要だということです。多種多様な人間関係の中、自分のよいところ、相手のよいところを理解し、パートナーになれる相手を探して目標に向かって進む力が必要になっていきます。



③2050年に求められるスキル・能力

2050年に求められるスキル・能力の上位にコンピュータスキルが挙げられています。ChatGPTのようなAI技術とも上手に付き合っ、仕事に役立つ素養が必要になります。

今や、仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場面でICTの活用が日常のものとなっています。子どもたちにとっても、PC端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムです。例えば、授業のすきま時間に、**PC端末を活用することで、各自が自分で選択して「学びたいこと、課題だと思ふことに」取り組む、そのような姿を学校は目指していく必要があると考えます。**

「注意深さ・ミスがないこと」、「責任感・まじめさ」 ⇒問題発見力、的確な予測、革新性、情報収集、客観視、PCスキル			
2015年		2050年	
注意深さ・ミスがないこと	1.14	問題発見力	1.52
責任感・まじめさ	1.13	的確な予測	1.25
信頼感・誠実さ	1.12	革新性※	1.19
基本機能（読み、書き、計算、等）	1.11	的確な決定	1.12
スピード	1.10	情報収集	1.11
柔軟性	1.10	客観視	1.11
社会常識・マナー	1.10	コンピュータスキル	1.09
粘り強さ	1.09	言語スキル：口頭	1.08
基礎スキル※	1.09	科学・技術	1.07
意欲積極性	1.09	柔軟性	1.07
：	：	：	：
：	：	：	：

※革新性：新たなモノ、サービス、方法等を作り出す能力

※基礎スキル：広く様々なことを、正確に、早くできるスキル

(備考) 本調査で示されたスキルは、能力の重要度を表す指標であり、価値の中心が「1.0」を標準値として設定されている。2050年以降の予測は、World Economic Forum「The future of jobs report 2020」(Asian Bahah et al.、「The future of skills: Employment in 2030」)を参考に、能力重要度調査の結果を基に推定している。

出典（図）：

第7回教育セミナーinおかやま 「文部科学省初等中等教育局 学校デジタル化PTリーダー 修学支援・教材課長 兼 デジタル庁 参事官 武藤 久慶 様」講演資料より部分引用

【Ⅱ. 全国学力・学習状況調査、岡山県学力・学習状況調査（結果公表）】

4月に実施した、学力・学習状況調査の結果を浅口市ホームページにて公表しております。学力面、学習状況面（家庭学習時間など）について、それぞれ成果と課題をまとめていますので、ご確認ください。以下には、結果をふまえた、改善策について、記載します。

改 善 策
学 校 での 取 組
①校内研究を柱とした授業改善 ・問題提示の工夫 ・思考力を高める発問 ・生活場面とつなげる振り返りの工夫 ②基礎学力向上のための取組 ・朝の学習（毎朝8:15～8:30） ・質の高い自主学習 ・児童による学習の振り返り ③活字に慣れるための取組 ・読書（朝読書やボランティアの方による読み聞かせを含む）の機会を多く設定 ・図書委員会児童が中心となって読書を推奨したり、読書に興味をもったりするような取組の実施 ・作文の課題を出したり新聞を活用したりして、活字の読み書きを行ったり感想を伝え合ったりする活動の実施
あ い ・ か も が た 学 園 での 取 組
○カリキュラム「あい・かもがた学」に沿って、中学校区で一貫した指導を行い、基礎学力の定着、学び合い活動の充実を図る。 ○「ほめ言葉のシャワー」の取組を通して、互いに認め合う温かい人間関係作りに努めるとともに自己肯定感を高めることができるようにする。 ○各校の授業参観や情報交換の機会を設け、園・小・中学校のスムーズな接続を図る。
家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い
○学校では自主学習を推奨しています。子どもが自主学習に意欲的に取り組めるよう、声掛けをお願いします。 ○「メディアコントロール週間」の期間中を中心に、「早寝・早起き・朝ごはん」などの規則正しい生活習慣や学習習慣を身に付けることができるよう、サポートや励ましをお願いします。 ○学習や生活等、様々な場面で子どもたちのよさや頑張りをほめてください。

Iで示した通り、学校では、子どもたちには「学び方を学ぶ」こと、各自が自分で選択して「学びたいこと、課題だと思ふことに」取り組むことが出来る力を付けさせたいと思っています。そのために、授業では、興味関心がわくような授業を目指し、今、学んでいることが生活と結びついているのだということがわかるように進めています。

どうぞ、ご家庭においても、子どもたちが日々の宿題や自主学習に意欲的に取り組めるよう、声掛けやサポートをよろしくをお願いします。学校での学習と家庭学習の両輪がまわり、持続可能な社会の創り手となる子どもを育成していきたいと思ひます。

参考URL：[全国学力・学習状況調査、岡山県学力・学習状況調査（結果公表）](#)